

## 指導事例 4 READING (第3学年)

### 学習指導計画

教科書：POWWOW ENGLISH READING (文英堂)  
単元：Lesson 4 (ATLANTIS, A MYSTERIOUS ISLAND)

- 1 単元の目標 [ ]内の記号は評価規準との関わりを示す。
- (1) 考古学者が、調査をもとにアトランティスの伝説をクレタ島ミノス王朝の消滅と関連づけて解明していく過程を理解する。〔C1, C2, D2〕
  - (2) 意味のあるまとまり(チャンク)ごとに、文を読めるようにする。〔A, B1, B2〕
  - (3) 重要な語句や文法を含む文を暗唱し、重要表現の定着を図る。〔A, B2, D1〕

### 2 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
A 間違いを恐れず音読・暗唱に積極的に取り組んでいる。	B1 正しいリズムや発音で音読することができる。 B2 文章の意味や作者の意向を考えて適切に音読、暗唱できる。	C1 書かれた内容について正しく読み取ることができる。 C2 読んだ内容について概要や要点を把握することができる。	D1 「読むことに」用いられる語句や文法を知っている。 D2 考古学者の仕事とクレタ島文明を理解している。

### 3 単元の Part 1～Part 6 までの指導手順 (各 Part を 2 時間で実施)

- 第1時：新出単語の練習、テープリスニング、内容についての英問英答、語句説明  
第2時：テープリスニング、語句の説明のつづき、音読練習

### 4 単元の指導計画

時間	該当箇所	学習内容	評価規準とのかかわり	評価方法
1 2 3	導入 Part 1	アトランティス伝説について概要を紹介した後、アトランティス伝説と、その時代背景について理解させる。	C2,D1 C1,A,B1,B2	観察
4 5	Part 2	プラトンが書いたアトランティスの記述と、その記述はクレタ島ミノス王朝に関係があるとするマリナトスの説を読み、その論旨を理解させる。	C2,D1 C1,A,B1,B2	観察
6 7	Part 3	考古学者マリナトスがクレタ島沖の発掘調査をもとに、プラトンの記述の源を科学的に解明していく過程を理解する。	C2,D1,D2 C1,B1,B2	観察
8 9	Part 4	火山の爆発と津波によって消滅した他の例から、マリナトスの考えた推論の根拠を理解させる。	C2,D1,D2 C1,B1,B2	観察
10 11	Part 5	マリナトスが探索していた海没地点がミノス王朝であるとする調査結果を理解させる。	C2,D1,D2 C1,B1,B2	観察
12 13	Part 6	プラトンの記述にあるアトランティスの位置と、クレタ島の実際の位置との矛盾について、その原因をマリナトスが推論していく過程を理解させる。	C2,D1,D2 C1,B1,B2	観察
14 15	全体	チャンクごとに正しく音読できるようにする。	A,B1,B2	音読テスト (相互評価)
16	全体	内容・文法事項の確認を図る	C2,D1,D2	ペーパーテスト

5 本時の目標 (Part 3 第7時間)

- (1) ある考古学者がクレタ島沖の島を発掘調査することにより、プラトン記述にある失われた文明との関連を推論する過程を理解する。
- (2) チャンクごとの音読練習を通して、パート3の内容をより理解させる。
- (3) チャンクごとの音読練習を通して、重要な文を暗唱させる。

6 授業実践の指導過程 (Part 3 第7時間)

段階	学習活動	生徒の活動	教師の指導・支援	留意・観察項目
導入 2分	・あいさつ ・英問英答	・あいさつをする。 ・英語で答える。	・あいさつをする。 ・身近な話題を英語で質問する。	・大きな声であいさつさせる。
展開 8分	・前時の復習	・語句、内容を答える。	・語句、内容を尋ねる。	・ノートに書いたことが理解できている。
15分	・本時の内容説明	・第2段落のCDを聞く。  ・ノートに書き込みをする。 ・チャンクごとに読む。  ・第3段落をCDで聞く。 ・ノートに語句の書き込みをする。 ・チャンクごとに読む。	・CDを聞かせる。  ・語句説明をする。  ・チャンク読みで「フル・リーディング」をする。 ・CDを聞かせる。 ・語句説明をする。  ・チャンク読みで「フル・リーディング」をする。	・ノートに英文が書いてある。 ・書き込みができている。 ・チャンク毎に適切に区切って読んでいる。
10分	・音読練習(全体)	・内容を確認する。 ・チャンクごとに読む。 ・単語を読む。  ・1文ずつCDの後に続いて読む。 ・CDの後を追って読む。	・CDを聞かせる。  ・難しい単語を拾って読む。 ・1文ずつCDで聞かせる。 ・「シャド・リーディング」をする。 ・数名を指名して読ませる。	・聞くだけで理解できている。 ・声が十分出ている。 ・スムーズである。 ・速さは適当である。
10分	・暗唱	・1文を暗唱する。	・1文を指定し暗唱させる。 ・ペアで練習の後、数人を指名し暗唱させる。	・1文を暗唱できる。
まとめ 5分	・本日のまとめ  ・次回の予告 ・あいさつ	・意味と要点を確認する。  ・あいさつをする。	・暗唱した文の意味と要点を確認する。 ・次回の予告をする。 ・あいさつをする。	・文の意味と要点がわかっている。

音読指導における評価の工夫・改善

音読指導は、英文を読む際の基本的な指導法である。ペーパーテストでは音読による「表現の能力」を直接、評価することが難しい。そこで、授業での音読練習の成果を見るために、生徒に評価ポイントを事前に知らせて、授業での音読の練習に意欲的に取り組むための目標とした。授業では内容を理解させつつ、音読の技術を向上させるために様々な工夫をした。

## 1 音読テストの予告

音読のテスト について  
日 時 10月6日(月)、7日(火)  
場 所 美術室、美術準備室  
範 囲 Lesson3 part 3,4,5  
Lesson4 本文全部  
方 法 5人1組で別室に入り、与えられた英文を音読する。  
教員のほかにグループの生徒も評価する。

### 評価ポイント

#### 1. 声の大きさ

- A よく聞こえる。
- B 何とか聞こえるが聞こえにくい。
- C 何を言っているのか聞き取れない。

#### 2. 発音の正確さ

- A 音やアクセントなどの間違いが3つ以内。
- B 音やアクセントなどの間違いが多少ある。
- C 読めない単語が多い、日本語読みになっている。

#### 3. 意味の区切れ

- A 意味の区切れで、間を置いたり息継ぎができる。
- B ほぼできる。
- C 意味なく途切れる。

#### 4. 流暢さ

- A CDと同じくらいの速さですらすら読める。
- B ややおそい。
- C とてもおそい。

#### 5. 気持ちをこめて

- A 強弱やメリハリがある。
- B 重要な箇所がわかり、強く読める。
- C 単調である。

## 2 授業での指導実践例

音読を楽しく、かつ効果的に練習するために次のようなことを工夫した。

### (1)まとめり(チャンク)ごとに意味を理解しながら、正しく区切って読む工夫

1回目:チャンクごとにスラッシュをいれながら読む。

難しい語を再度練習する。

2回目:文ごとに読む。このとき息継ぎは必ずスラッシュのところできるように注意する。

3回目:コーラスリーディング、またはシャドーリーディングをする。

シャドーリーディングのときはCDのリズムに近づくように心がける。

<感想> スラッシュを入れることは、意味を理解する上でも役立つし、音読のときにも大変効果的であった。生徒もスラッシュの意義をよく理解し、積極的に取り組んだ。

### (2)マンネリ化を避け、楽しく音読の練習をする工夫

**3人のグループで comprehension check**

前回の内容について質問を書いたプリントを配布する。1人ずつ英文を読み、他の二人は問題の答えを聞き取る。各人が音読を1回、聞き取りを2回することになる。最後に答え合わせをする。

<感想> グループによって差が出てしまった。

### **Shadow reading [Teacher-fronted]**

CDを聞きながら1,2秒遅れて追いかけて読む。イントネーションやリズムのよい練習になるが、事前にゆっくりと何度か読みの練習をしておく必要がある。

<感想> 出来る生徒にとっては、さらに意欲を湧かせる効果がある。ある程度リズムにのって読めるようになってくると、楽しくなってくるようだ。苦手な生徒は初めからやろうとしないことがある。

### **Shadowing [Teacher-fronted]**

シャドーリーディングができるようになったら、文章を見ないで聞いただけで繰り返す。内容を十分に理解した後に行う。

<感想> 実際シャドーイングはかなり難しい。しかし、クラスで何名かは挑戦しようと意欲的になっている。練習していけば、かなりできるようになる。

### **Read and Look-up [Teacher-fronted]**

教師が読んでいるときは教科書を見ながら、リピートの時には教科書を見ずに、顔を上げて繰り返す。

<感想> チャンク読みの段階で行うとよい。声が小さく元気のないときに使うと効果が上がる。顔を上げることで声量が増す。

### **教科書を閉じての Repeating [Teacher-fronted]**

教師のモデルリーディングの後に続いて、チャンクごとに何も見ないで繰り返す。

<感想> 暗唱をさせたいときに使うと効果的である。

### **Randomized range-restricted J-E translation challenge [Teacher-fronted]**

教師が日本語を言い、生徒は日本語に合った英文を範囲の中から探して読む。

<感想> 範囲の中からランダムに選んで読ませると、生徒の理解度もわかる。生徒にとっては意味を再確認することにもなり効果が期待できる。

### **Buzz reading**

声をそろえず、自分のペースで読む。1分間にどこまで読めるかなど、時間を区切ってできるだけ早く読ませてみる。

<感想> コーラスリーディングに飽きたときに行うと効果的である。

### **スイッチ読み(2人組で)**

一人が読み、もう一人は文を目で追いながら聞く。教師の「スイッチ！」の掛け声で読み手と聞き手を交替する。

<感想> 生徒も楽しくやっているようだ。相手の読みに耳を傾けること、ざわついた教室内で相手によく聞こえるように、はっきり発音しなければならないこと、読めない単語は互いに教えあうことなど、様々な効果が期待できる。

### **Shadowing pair work**

一人が教科書を見ながら相手に気を配り英文をチャンク単位で読む。その直後、もう一人は教科書を持たずにすぐに英語で繰り返す。正しく言えればOK、次へ進む。正しく言えなければ何度でも英文を読んで聞かせる。

<感想> 相手に気を配りながら読むので、その場に応じた適切な読みを体験することができる。

### Build-up chunk repetition pair work

一つの段落を、自分が覚えられる範囲(句 or 文単位)で言うが、口に出して言う時は教科書を自分の胸にあてておく。相手は教科書を見ながら正しく言えているかチェックする。一つの段落が終わったら、言う役目とチェックする役目を交替する。

<感想> 暗唱練習に役に立つ。

### (3)大きな声で音読ができるクラスの雰囲気を作る工夫

- ほめる 生徒がやる気になってくれる
- 机間指導 サボりの生徒への牽制として有効
- 教師も一緒に読む 発音に自信のない生徒もつられて声を出せる
- 姿勢良く 教科書を両手で持たせ顔を上げるだけで音量が全然違う
- 立ち上がって 音読の時間に盛んに書き込みをしたがる生徒も読みに集中せざるを得ない
- 音読の重要性を理解させる 音読に意義を持たせ目的意識を持たせる
- 音読により理解が進んだことを実感させる やる気が出る

<感想> クラスの雰囲気を常に良い状態に保つことはかなり難しいと思う。趣向を変えて、ペアワークやグループワークをすると、活気が出ることもある。教師に元気がないと生徒の声も小さくなってしまうので、生徒を励ましつつ、自分でも元気良く音読をするようにしている。モデルリーディングの後、生徒が読むときにも一緒に声を出すと、それにつられて、全体の音量もある程度保たれる。声がかかることもしばしばあるが、生徒たちが大きな声で気持ちよく音読をしていたときは、やってきてよかったと実感した。

## 3 音読テスト

音読カード例 (実際には10種類の中からその場で1枚を渡し、音読をさせる。)

### 例1

"My brothers," he began, "we have come a long way with the British. When they leave, we want them to leave as friends. If we really want to change things, there are better ways than attacking trains or killing someone with a sword. I want to change their minds, not kill them."

"We will use nonviolent noncooperation against the British," he continued. "If we refuse to cooperate with them, 100 thousand British people cannot control 350 million Indians! We Indians drive the buses and trains. We work in the shops, factories, and government offices. If we refuse to work, the country will stop. Then the British will have to listen to us."

Lesson 3 POWWOW ENGLISH READING (文英堂)

### 例2

Atlantis is one of the most mysterious islands in the world. According to Plato, a large island, Atlantis, sank into the sea long ago. We cannot be sure where it was, when it sank, or how it sank. However, the idea that Atlantis really existed is still with us.

People have been trying to find Atlantis through the ages. On an old map used by Columbus, there are many islands in the seas west of Europe. Among them we can find Antillia. The early Portuguese and Spanish sailors believed that this might be Atlantis in a different written form and that parts of the island might be found. This belief was one of the reasons for their journeys.

Lesson 4 POWWOW ENGLISH READING (文英堂)

#### 4 テスト結果

	評価ポイント					換算点	総合
	1	2	3	4	5		
3201	A	A	C	A	C	30	B
3202	A	B	A	A	C	35	B
3203	A	A	A	A	B	45	A
3204	A	A	A	A	B	45	A
3205	A	B	A	A	C	35	B
3206	A	C	C	C	C	10	C
3207	A	A	B	A	C	35	B
3208	A	A	A	A	A	50	AA
3209	A	A	B	A	B	40	B
3210	A	B	A	A	B	40	B
3211	A	A	A	A	B	45	A
3212	A	A	A	A	B	45	AA
3213	A	A	B	A	C	35	B
3214	A	A	B	B	B	35	B
3215	A	C	C	B	C	15	B
3216	A	B	B	B	B	30	B
3217	A	A	B	A	B	40	B
3218	A	B	B	B	C	25	B
3219	A	C	C	C	C	10	C
3220	B	A	B	B	C	25	B
3221	B	B	B	A	C	25	B
3222	A	B	C	C	C	15	B
3223	A	B	C	B	C	20	B
3224	A	A	B	B	C	30	B
3225	B	B	A	A	B	35	B
3226	A	A	A	B	C	35	B
3227	A	C	C	C	C	10	C
3228	A	A	B	B	C	30	B
3229	A	A	A	B	B	40	B
3230	A	A	A	A	B	45	A
3231	A	B	C	C	C	15	B

列の番号は前に示した  
評価ポイントを表す。

- 1 声の大きさ
- 2 発音の正確さ
- 3 意味の区切れ
- 4 流暢さ
- 5 気持ちをこめて

換算点

A=10点

B=5点

C=0点

テスト結果は後日コメ  
ントをつけて生徒に個  
人票として渡した。

#### 5 感想と考察

音読のテストに向けて、授業中から熱心に練習した生徒、しなかった生徒の差が大きく分かれた。テストに際しては、上手に読もうという雰囲気クラス全体に浸透し、皆、精一杯の力を出したと思う。これが2回目になるが、人前で音読をすることへの抵抗はなくなってきていると感じた。日本人特有の語尾を強く読む生徒も少なくなり、シャドーリーディングの効果も見られた。

#### 6 課題

授業中に音読を個別に評価し、記録することは難しい。全体として「元気がなかった」「リズムに乗ってよく読めた」「難しい単語を正しく発音できた」などと毎回コメントするようにしている。個人を指名して読ませるときは、必ず良い点を指摘し生徒のやる気を引き出すようにして、その上で、その生徒に一番ふさわしい助言ができるよう工夫が必要である。

## 定期考査における工夫・改善

### 1 音読の効果を実験でも生かすための工夫・改善点

- ・試験の出題概要をあらかじめ生徒に知らせ、音読の重要性を説き、その徹底を図る。
- ・英文和訳の問題を減らし、音読の効果があらわれるような問題を出題する。

教室掲示用

### リーディング 二学期中間テスト 出題概要

#### テスト範囲

Lesson 3 Part 3 ~  
Lesson 4 Part 6 本文 まで

#### 内 容

- 発音・アクセント(日頃の音読をしっかりと)
- 英語の質問に答える(Question 中心)
- 文章中で日本語に当たる英単語を書く(新出単語中心)
- 本文中の熟語から空所を埋める
- 本文中の2, 3の段落において、単語を抜き出し空所になっている箇所に単語をうめる(名詞)
- 文法 関係代名詞非制限用法・比較 (本文中の該当文章を覚えておこう)
- 空欄に当てはまる節を答える(前後のつながりがわかるように、内容を把握しておこう)
- 語形変化

## 2 成果

### (1)発音アクセント問題(知識・理解)

1 次の各語について、最も強く発音する部分を記号で答えなさい。(1点×8)

- |                                |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. in-dus-try<br>ア イ ウ         | 2. co-op-er-ate<br>ア イ ウ I    |
| 3. dem-on-stra-tion<br>ア イ ウ I | 4. in-de-pen-dence<br>ア イ ウ I |
| 5. mys-ter-i-ous<br>ア イ ウ I    | 6. re-spect<br>ア イ            |
| 7. non-vi-o-lence<br>ア イ ウ I   | 8. gen-er-a-tion<br>ア イ ウ I   |

2 下線部の発音が他と違うものを、記号で答えなさい。(1点×4)

- |                         |                     |                      |                       |
|-------------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|
| 1. (ア) Pl <u>a</u> to   | (イ) b <u>a</u> se   | (ウ) volc <u>a</u> no | (I) p <u>a</u> lace   |
| 2. (ア) c <u>e</u> iling | (イ) p <u>r</u> iest | (ウ) m <u>e</u> asure | (I) s <u>c</u> ene    |
| 3. (ア) b <u>u</u> ry    | (イ) p <u>u</u> mice | (ウ) s <u>u</u> nken  | (I) e <u>r</u> uption |
| 4. (ア) t <u>i</u> dal   | (イ) m <u>a</u> in   | (ウ) s <u>t</u> rike  | (I) f <u>i</u> nding  |

正答率

問		正答率(%)	問		正答率(%)
1	1	71	2	1	77
	2	81		2	74
	3	77		3	68
	4	84		4	81
	5	74	平均正答率 72.6% 全体的に良くできた		
	6	97			
	7	35			
	8	52			

(2)内容の理解度の問題 (理解の能力)

8 本文の内容に合うように、空欄にあてはまる語を下から選び、記号で答えなさい。(1点×5)

Mohandas Gandhi asked Indian people to use a method of ( 1 ) struggle. After the long struggle for freedom, India became an ( 2 ) country in 1947. Gandhi asked his friend ( 3 ) to become the first ( 4 ) minister. Gandhi's Ideas have ( 5 ) many leaders throughout the world.

あ) independent    い) nonviolent    う) prime    え) influenced    お) Nehru

9 空欄にあてはまる語を下から選び、記号で答えなさい。(1点×5)

( 1 ) is one of the most mysterious islands in the world. According to ( 2 ), a large island, Atlantis, sank into the sea long ago. We cannot be sure where it was, when it sank, or how it sank. However, the idea that Atlantis really existed is still with us.

People have been trying to find Atlantis through the ages. On an old map used by ( 3 ), there are many islands in the seas west of ( 4 ). Among them we can find Antillia. The early Portuguese and Spanish sailors believed that this might be Atlantis in a different written form and that parts of the island might be found. This belief was one of the ( 5 ) for their journeys.

あ) reasons    い) Columbus    う) Europe    え) Atlantis    お) Plato

正答率

問		正答率(%)	問		正答率(%)
8	1	84	9	1	97
	2	84		2	100
	3	100		3	94
	4	100		4	97
	5	81		5	94

生徒が内容を良く理解したと判断した



(3)単語の習得をみる問題（知識・理解）

10 文中の( )内の日本語を英語に、( )内の英語を日本語に直しなさい。(1点×14)

Several days later, when Nehru came to see him, Gandhi was very weak from (1.fasting). Nehru said, "The fighting has stopped, Mahatma. Tomorrow in Calcutta, ten thousand students will be (2.march)ing for peace."

Gandhi turned to his friend and said weakly, "Whenever I lose hope, I remember that all through history love and (3.正義) have always won."

On January 30, 1948, Gandhi was shot and killed. The whole world (4.mourned) the loss of the great leader of nonviolence. However, Gandhi's ideas influenced many leaders throughout the world. For example, Martin Luther King, Jr., who struggled for the (5.権利) of African-Americans in the 1960's, learned much from Gandhi.

Albert Einstein said of Gandhi: "(6.世代s) to come will not believe that such a man ever walked upon this earth." (以下省略)

正答率

問		正答率(%)	問		正答率(%)
10	1	90		8	*65
	2	87		9	*94
	3	*74		10	*74
	4	77		11	100
	5	*45		12	*65
	6	*65		13	*61
	7	*42		14	*87

ゴシック体は新出単語であり予告してあったもの。  
\*のマークは日本語を英語に直す形で出題したもの。

予告しておいた新出単語については70パーセント以上の出来だった。わずかなスペルミスで得点にならない解答が多く、音声では分かっているにもかかわらず書くとなると難しくなる生徒が多いことを示している。

全体として

音読は、単語の発音はもとより、意味を覚える際にも有効であった。さらに、( )内、適語補充問題の結果にも現れているように、内容を理解できた生徒が多かった。

試験の出題概要や出題方法がわかっているならば、勉強の仕方や、授業の受け方がわかってくるようだ。しかし「音読ばかりで説明が少ない」「和訳をもっときちんとやってほしい」などの声も聞かれ、音読の重要性について理解していない生徒もいることがわかった。

## 考察・まとめ

### 1 音読指導の意義

授業における音読練習は、本文を十分に理解した後にその理解した内容を音声として発表する表現活動である。音読を通して、内容をよりよく理解させるとともに、生徒の理解度を適切に評価できると考えた。また、音読の技術向上はリスニングやスピーキングにも大いに役立つと考え、音読中心の授業を展開することにした。

### 2 音読指導の目標とその段階

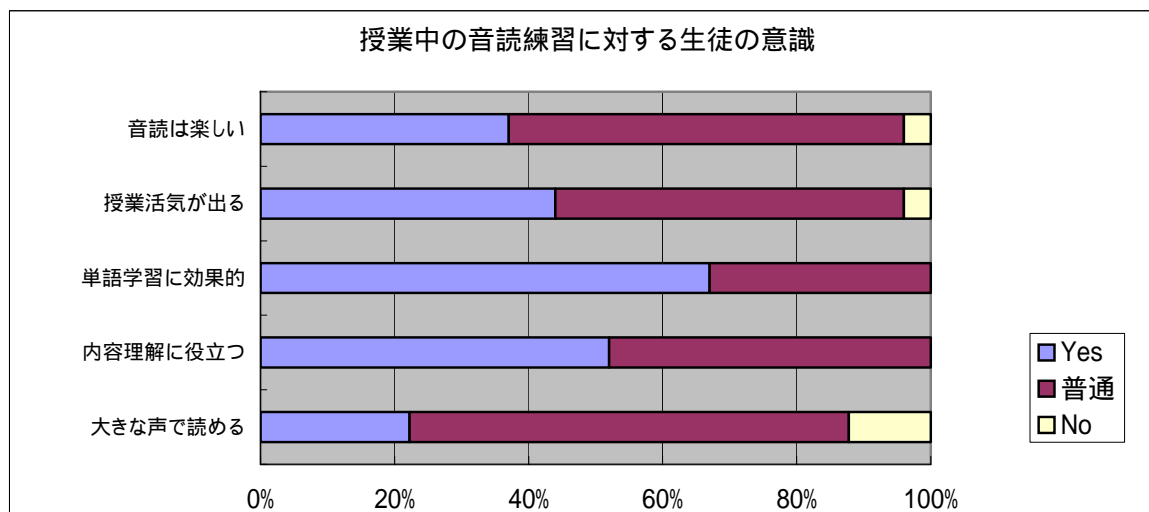
はじめに具体的な目標として、次の4つの段階を設定した。

1. 単語を発音、スペリング、意味の3点で覚えさせること。
2. 文章をチャンクでとらえその意味を理解すること。
3. 音読を重ねることで内容をよりよく理解すること。
4. 大切な文法事項の含まれたセンテンスを暗唱できるようにすること。

現在のところ、第3段階までは、半数以上の生徒が到達できていると言える。今後第4段階の暗唱と、目標に達していない生徒の指導が課題である。

### 3 生徒の反応

2学期の中間考査を終えて、生徒にアンケートをとったが、結果は以下のとおりである。



生徒の大部分があまり抵抗なく音読練習に取り組んでいることがわかった。単語学習に効果的であると答えた生徒は6割以上で、毎週月曜日の朝、SHR時に全校で行っている単語テスト(教科書の定められた範囲から出題)に、その成果が現れている。

#### <生徒の感想>

- 音読を何度もやっていると、自然と頭に入ってくるので、単語とかも覚えられていいと思います。
- 前よりも読めるようになって英語が楽しくなった。
- 眠い時に音読をすると眠気がまぎれる気がする。
- 読みをするようになってから頭の中に内容が入ってくるようになりました。
- 単語を覚えるとき、発音から書けるようになった。

しかし、少数ではあるが、音読に対して「めんどくさい」とか「和訳が分からなくなる」など、消極的な生徒もいる。音読の必要性を説き、楽しく練習できるよう工夫が必要であると反省した。また、スピードについていけないと感じている生徒もいるようなので、練習のときに困っている生徒がいないか確認するなど、細かな配慮が必要である。場合によっては個別指導も必要であると思った。

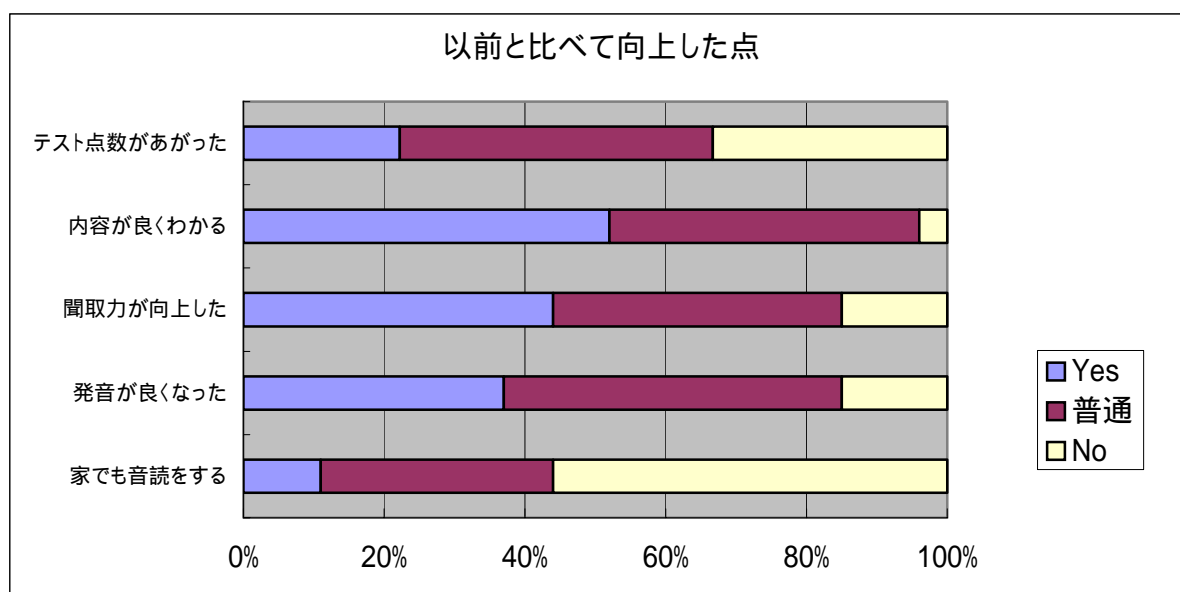
<生徒の感想>

音読も大切だけれど文の意味がわからないから訳をゆっくり言って欲しいです。

テスト前に音読をやるのは少しいらい。

速すぎてついていけない。

どうしたら単語が読めるようになるかわからない。



生徒自身の評価で、「内容が良く分かるようになった」と答えた生徒が半数以上いることは、音読中心の授業を進めてきてうれしい結果である。さらに 2 割以上の生徒が、「テストの点数が上がった」とも答えており、ペーパーテストの工夫・改善と合わせて、音読の効果が現れてきていると確信した。

<生徒のコメント>

- 「何で何度もやるんだろう」と思ったけど、テストの穴埋めの問題のときに結構思い出せたから、すごく役立つと思いました。
- 音読を始めてからテストの点が上がった気がする。

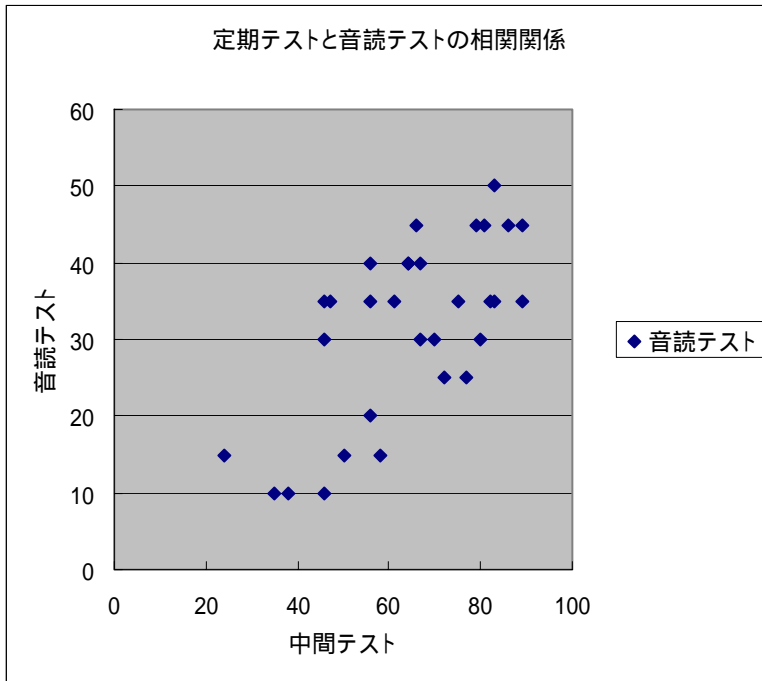
課題は、音読が授業の中だけで終わってしまい、家庭学習に活かされていないことである。なんとか改善を図る必要がある。家庭でも活用できるように、生徒一人一人に音声教材（CD,MD,テープ等）を持たせたいと考えている。また、授業内の練習だけでは不十分な生徒には、昼休みや放課後の時間を利用して個別指導を行いたい。

<生徒のコメント>

テストが悪い点ばかりでやる気がなくなってしまう。

授業では読めても後でわからないところも出てくるので、CDがあると便利だと思います。

#### 4 ペーパーテストと音読テストとの相関関係



グラフからも分かるように、二学期中間考査と、直前の音読テストの成績は、ほぼ比例している。また、音読テストに関しては、取り組みに積極的なグループと消極的なグループのメンバーが固定化しており、成績の差も開いてきている。後者に対しては、音読の意義を再認識させると同時に、放課後、昼休み等に時間を見つけ、個別に音読指導をする必要がある。

#### 5 感想とこれからの課題

初めは、生徒が音読の学習活動に意欲的に取り組むか心配していたが、期待した以上に音読を楽しく行っているので、授業を順調に展開することができた。学年共通で指導ができたなら、音読テストをもっと効果的に行えると思う。教員間の共通理解と年間指導・評価計画の必要性を痛感した。今後は、音読練習の成果を、リスニングやスピーキングといった観点から試してみたい。